



“ウクライナ戦争に思う“

石原靖造

昨年2月24日ロシアの侵攻により始まったウクライナ戦争は、既にこの8月で18ヵ月目を迎えます。ウクライナ情勢と称して毎日盛り沢山に報道されていますが、一向に戦況の行方が見えて来ないだけに、もう皆さんもうんざりされているのではないのでしょうか？

若い頃、父親から良く聞かされた言葉に “この世で起こった事はこの世で納まる” という金言めいた一言があります。この戦争による行く末も、ロシアが勝つか、ウクライナが勝つか、停戦かの三通りしか無い事になります。

毎日の様に偉い学者さんや政治家の先生方が侃々諤々議論を交わされても、中々行く末が見えて来ないのは、それだけ事態が複雑で解が見えて来ないと言う事だと思います。自分も色々思いを巡らせても、このたった三つしかない答えの一つが見つからず、苛々がつる毎日ですが、先日新聞の或るコラムに出会いました。

アメリカシンクタンクのある学者さんですが、この戦争はプーチン体制の崩壊をもって終わると言うものです。その根拠としては、世界からの制裁による経済の疲弊、財政の大幅赤字による破綻、国民生活困窮による民心の離反等諸々の悪条件が重なり、徐々に深刻の度を深めて、時間は掛かるが、やがて崩壊すると言うものです。成程一理あるなあと思います、この案に願望を込めて乗る事にしました。



何故そんなに先を急ぐのかと問われそうですが、老い先短い、しかもヤモメの自分にはやらねばならぬことが色々あり、偉い先生方のウクライナ情勢の検証や分析に聞き入る時間の余裕は余り無いのです。現にこのプーチン体制崩壊、ロシア敗戦説を信奉してからは、テレビ番組がつまらなくなり、観る時間が少なくなりました。

後この戦争を早く終わらせたい大きな理由があります。石油、石炭、小麦、トウモロコシ他あらゆる物資が高騰し、その害は世界中に及んでいます。自分も年金は目減りする一方で、

この戦争に起因するインフレは何としても止めてほしいのです。
扱て、皆さんはこの三者択一の問題を如何お考えでしょうか？

最後に神さんへのお願いです。

“この世で納まる事を是非この世で見せて下さい。あの世へ行ってからはどうか
ご勘弁下さい。”

令和5年8月12日

(完)